

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	港湾空港課長 奥村 恭	電話番号	0852-22-5228
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	港湾整備事業（漁業）		
目的	(1) 対象	港湾を利用する漁業従事者等	
	(2) 意図	漁業活動が安全で効率的に行えるようにする。	
事業概要	漁業従事者等が安全で効率的な漁業活動を行えるよう岸壁や防波堤等の港湾施設を整備する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	岸壁の整備率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		41.40	41.40	41.40	41.40	
式・定義	岸壁の実施済み延長／岸壁の計画総延長	実績値	41.40	41.40	41.40	41.40			
達成率			100.00	100.00	100.00		%		
指標名	防波堤の整備率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度		27年度	
		目標値		88.50	90.70	92.30		94.80	%
式・定義	防波堤の実施済み延長／防波堤の計画総延長	実績値	87.90	88.30	89.30	90.80			
達成率			99.80	98.50	98.40		%		

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	232,473	290,878
うち一般財源(千円)	82,577	41,978

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・防波堤の整備はほぼ目標とおり進んでいる。
- ・益田港は防波堤を先行して整備しており、物揚場の整備が遅れている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・25年度に久手港の防波堤工事が完了し、港内静穏度の向上が図られた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・益田港、久手港では航路・泊地が砂で埋塞し、毎年浚渫が必要な状況にある。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・日本海の冬期風浪により、砂が移動し航路・泊地が埋塞する。

③原因を解消するための「課題」

- ・浚渫費用を軽減するための抜本的な対策が必要。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・益田港の新航路の暫定供用に向けて防波堤等の整備を急ぐとともに、現航路等の維持浚渫を継続し行う。
- ・久手港の防砂堤の検討を行うとともに、航路等の維持浚渫を継続し行う。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）